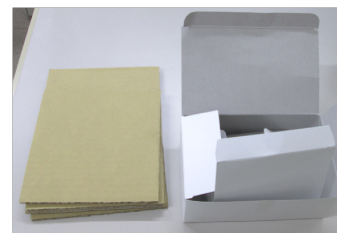


紙の分別について

本年度は、目標に定めた5項目すべて、1月末現在達成できています。しかし 一般廃棄物だけは、達成率100% (目標 661 袋 実績 658 袋) で苦戦をしていると言えます。過去の例からも、生産量が増加すると、梱包材を中心に一般ごみが増加する傾向にあり、部品ケース、緩衝材などが増えています。皆さんにお願いしたい点は、紙類の分別徹底で写真の左側が、ダンボールです。右にある箱は、通称「厚紙」と呼ばれているもので、部品などの箱として使用されています。色はダンボールが茶色に対し、白または灰色で、分類の上では、雑誌の仲間です。これも、資源として再使用可能ですが、中に、つるつるした材質のビニールコーティング されたものがあり、これはリサイクルできません。出しかたは、ダンボールと同じように、所定の場所に分別して置いてください。

フォローアップ自己評価を実施しました

2月4日、フォローアップ自己評価を実施しました。昨年7月に実施した、定期自己評価の確認、8月のKES審査の指摘事項など、問題点と対策の進捗状況について話し合いました。環境活動でも、エビデンスの保存等、電子データに移行することが求められています。マニュアルの規定が追いついていない状況です。KESの審査でも、以前よりも細部に渡り確認されるようになり、マニュアルや手順など、文書管理も印鑑があるなしなどの確認と同等に、文書内容、表現方法も重要になって来ています。そうした観点で、審査員と評価ができました。



	指摘事項・チェック項目
定期自己評価	環境影響評価の実施報告を確認中、一覽票に重要影響項目の特定を示す〇印が欠落していた。紙の記録から、電子データへ移管の最中であり大きな問題とはいえないがKES審査までに、すべての電子データを再見直しすること。
	生物多様性保護に関する目標設定が義務化され、生物多様性保護支援目標達成の尺度が%で設定されていた。100%達成すると、どのような変化があるかなど理解出来ない箇所があり表現方法を再検討のこと。
KES審査	まえがきの部分や、不要な捺印欄などの指摘があり、細部にわたる点検必要(指摘事項ではない)
	最高責任者、環境管理責任者などのKES特有の組織的用語が理解されていない(指摘事項ではない)

今月の生物多様性情報 「水戸市環境フォーラム」 開催

1月30日、水戸市国際交流センターで「水戸市の水辺環境を考える・沢渡川、桜川逆川を見つめて」と題して、第8回 水戸市環境フォーラムが開催されました。水戸市は県庁所在地の中でも、偕楽園周辺に、ラムサール登録に匹敵する重要湿地が点在していてその湿地の保全には、この三本の川が需要であると考え、保全について意見を交わしました。桜川の上流域は自然が多く残され、ホテルの生息地としても有名ですが、ゴルフ場の農業等問題があるようです。逆川も保全活動が重視されているが、活動の継続性が求められているようです。沢渡川は、市街地の真ん中を流れているため、生活雑排水対策が必要と報告されました。



社長コメント ～ 一般廃棄物削減に協力を ～



当社の2015年度環境活動も終盤を迎え、目標が達成できるか重要な時期にきている。心配された電気使用量は、順調に低減されているが、一般廃棄物、低減目標の推移が鈍化している。廃棄物低減の決め手は、分別にあり、社員各位の努力をお願いしたい。

今月の環境用語



「自己評価」

KES環境マネジメントの要求事項で、ISOで言う、内部監査に相当する。当社の規定で、年2回定期評価とフォローアップを実施している。審査方法は、評価員2名で実施され、チェックリストに従い環境に関連するすべての項目を評価している。問題がある場合は、継続審査等の処置をとる。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	29,850kwh	29,590kwh	(達成)	198,210kwh	183,018kwh	108%	↑
一般ごみの削減	68袋	70袋	×	661袋	658袋	100%	↑
エコキャップを回収	849個	1,067個	(達成)	8,365個	9,961個	119%	↑
美化活動の実行	100%	100%	(達成)	100%	100%	100%	↑
生物多様性保護支援	10%	10%	(達成)	90%	90%	100%	↑